



朝顔屋

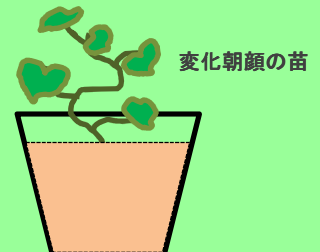
1.はじめに

今回、変化朝顔の栽培にご協力ありがとうございます。
 普段育てている朝顔とは、一味違う朝顔がでるかもしれません。
 江戸時代にタイムスリップした気分で、どんな花が咲くか楽しみに栽培してください。

2.栽培方法

①3号ポットのまま配布します。(早く苗を欲しいとの声が多いため) 図-1

②植替えは7号のプラ鉢または素焼きの鉢が良いようです。
 植替え時期は猛暑(30℃になる前)が良いようです。
 不明な点をご相談下さい。また、7号鉢が無い方も一声かけて下さい。
 図-2(鉢植えの場合、このサイズが重要)

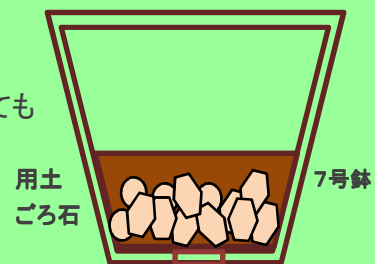


【図-1配布したポットの断面図】

《地植え、プランターでも基本的には同じです。》

③植付は、図-2のように鉢底に石(ごろ石)を敷くか用土をそのままいれても問題ありません。

④ポットから土をできるだけ崩さないように7号鉢に移して下さい。
 用土は「花と野菜の培養土」でも「赤玉と鹿沼と腐葉土」でも大体なんでもいいです。
 《地植え、プランターでも、同様の植え方でかまいません。》

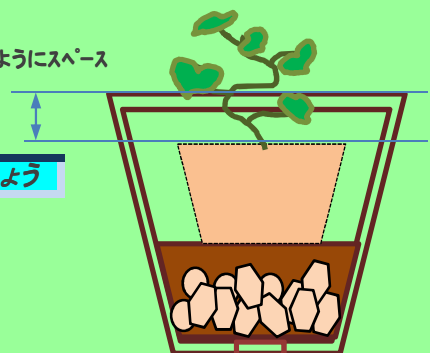


【図-27号鉢とごろ石】

⑤鉢の縁から5cmぐらい下まで用土をいれて完成です。 図-4水やりようにスペース
 水をたっぷりかけて下さい。茶色っぽい水がでていたようでしたら、
 澄んでくるまで、十分かけて下さい。

*** 毎日の水やりは真夏は十分に、今は表面が乾いたらやりましょう**

⑥肥料は液肥(ナフコ等で売っている10本で100円程度)が一番楽です。骨粉入り油粕や、完熟鶏糞、牛糞でもいいですがやり過ぎには注意しましょう。(不明な時はまず一報)



【図-3鉢に移した状態】

4. お願い

- 1.きれいに咲いて、植物園での展示時期の場合、借用するかもしれません。
- 2.種ができたら頂戴するかもしれません。
- 3.花の蕾、開花の状況の写真の撮影をお願いするかもしれません。
- 4.配布したポットにある名札が朝顔の名称です。番号は管理番号

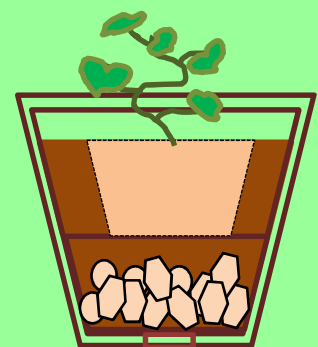
5. 参考

今回の変化朝顔は「江戸の園芸と変化朝顔の栽培」講座を受講して得たものです。(於: 植物公園)

広島未来都市創造財団のホームページ「[広島WEB博物館](#)」で検索し、
 「江戸の園芸講座と変化朝顔の栽培」活動中をクリックすると活動状況がわかります。配布した朝顔生育状況の写真もあります。どうぞ、ご覧ください。(福田)



【図-5 名札】



【図-4完成図】

みんなで夢を育てましょう